

助産雑誌 Back Number

★バックナンバーの取り扱いについて

①2015年12月号以降の雑誌は、医学書院受注センター(TEL:03-3817-5666)にて承ります。

②それ以前の号についてのご注文や在庫のご照会などは、下記へお願いいたします。

株式会社東亜ブック

〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町 5-27-11

TEL: 03-5947-4781 FAX: 03-3923-4539

2017年11月号



特集1

ダウン症のある児をもつ親の将来の不安に寄り添う

ダウン症のある子どもを育てる親御さんの将来への不安は、計り知れません。出生直後に湧き出るその不安を、そばにいる助産師が少しでも軽減し、将来の見通しがアドバイスできるような情報を集めました。／特集2はICMトロント大会のレポートです。

2017年10月号



特集

助産師は父親をどう支えるか

母親の負担を少しでも減らすためのキーパーソンは父親です。子どもを迎える家庭において、母親の心身をよい状態に保つために、助産師はどのように父親にアプローチすればよいのでしょうか。妻と夫の溝を埋めるための支援について考えます。

2017年9月号



特集

とても大事な産後2週間健診

研究結果をもとに母親のメンタルヘルスクアを重視して、2017年度から産婦健康診査事業で産後2回分の健診費用の助成が開始されました。本特集では、すでに産後2週間健診を実施している施設の実践例を参考に、早期の産後健診がいかに重要かを考えます。

2017年8月号



特集

大学院で助産を学び直す

臨床現場で湧き出た疑問を原動力に、大学院での学び直しを考えている助産師も少なくないようです。大学院教育の動向および展望、学び直すことの意義、そして実際に大学院で学んだ方に体験を語っていただきました。また、7つの大学院の特色についても紹介します。

2017年7月号



特集

妊産婦の筋・骨格を理解して助産ケアへ活かす！

妊娠を機に、女性の身体は変化します。筋・骨格を意識した身体の構造を理解することが、効果的な助産ケア、ひいてはスムーズな分娩につながります。今回は理学療法分野の専門家にも、根拠がより明確になる情報をご提供いただきました。

2017年6月号



特集

超音波検査の今と助産師のかかわり方

欧米と比較し、日本での妊娠中の超音波検査の回数は突出して多いとの指摘があります。特集では、超音波検査についての知識を整理し、日本における実施状況を俯瞰で見るとともに、医師・助産師の視点を共有し、超音波検査について改めて考えたいと思います。

2017年 特集

5月号 がんばってます、新人助産師教育

4月号 周産期のメンタルヘルスのために助産師ができること、すべきこと

3月号 産後ケアを成功に導くコツ

2月号 院内助産の新しい形 クリニック・病院併設助産所の取り組み

1月号 麻酔分娩に、どう向き合うか

2016年 特集

12月号 赤ちゃんのもつ力を最大限に引き出す母乳育児支援

11月号 開業助産師の実践する助産ケア 後輩に伝え、残しておきたいこと